〝みいけ〟千号記念新年文芸

四山指導部・宮崎勝さん作

詩の部

よる

三川指導部　すぎもと　かずお

ぼくには
どうしても眠れない
ながい夜がある。

昼間の労働で疲れた妻は
かすかないびきをたて
まるで
置きざりにされたマグロのように
子らも深い眠りに落ちている。

立退きをせきたてられている
この社宅の
コトリともしない静寂のなかで
ぼくは
音楽のきれた
白黒のスローモーション映像を追う。

年賀状

退職協　高山　史朗

革新連合政権構想
セイタカアワダチ草
グリンランド計画
遊休地買収決議
社宅撤去反対
統一地方選
資源不足
新内閣
不況
冬
秋
金脈
核兵器
狂乱物価
有明炭陸送
石炭産業再建
有明海岸線汚染

オルグからの年賀状に
でかでかと
こころもち
文字さえ躍りだして
いるようである

どこかに
ちちとははの
未来にかける夢が
うっすらと
にじんで見える。

子どもが生れました
「まなぶ」
とつけました

けさほど
とどいた

スクリーンに
べったり貼りついた初号見出しや
ゴシック・明朝などの活字が
有明の塔のひかりと
有明海の波で屈折し
点滅する。

とつぜん
野犬の群れがほうこうし
早い目覚めにおびえつつ
ぼくは
心臓の鼓動を確める。

滝さん　もう定年な

三川指導部　月野　貞信

滝さんの
大きな体のまわりに
いつも
さんざめく
三池の
新労の
職場の仲間がいる

滝さんの
包丁さばきのあとに
いつも
したずつみを打つ
地域の
主婦の仲間がいる

滝さんの奥さんがいる
おちついて
もの静かな
おれのばーちゃんにいわせると
上品な
それでいて
毎月のCOローンを
どっさり売ってくれる
桃枝さんという
奥さんがいる

払長だった滝さんがはね出され
分裂の苦しみによく耐えぬいた
そんなこと
ちっとも感じさせない
ホテイさんの滝さんがいる

定年をむかえた
仲間の家移りに
冷蔵庫を荒縄でひっくくり
一人で
五階まで
ヨイショ、ヨイショ、と
かつぎ上げた
ベンケイさんの滝さんがいる

滝さんのまわりに
皆んながいる

みんなの中に
滝さんがいる

（二二・一小浜北地域
滝沢夫妻定年退職祝賀会にて）

短歌の部

退職協　木村　守

絶大のちから誇れば相謀る小さき小さきエゴ作動する
結束を唯一にねがう層あればエゴ剝き出しに離反するあり
礎（いしずえ）は高邁永遠周到に策謀深慮の知慧はありけり
義理人情うすれ果てしと心重き大正生れの混とんを知る
百把ひとからげの生に生きていてこん日もなお夢太くもつ

主婦会西浜田　坂上　チヨノ

闘争のさなかに生れし我が吾子は見上げる程に背高くなれり
二十年唄いなれたる労働歌今朝も小声で家事にいそしむ
いたわり合いはげまし合って生きゆかんCO患者の夫をもちて

一日も心の休まるひまはなくふと鏡みて老をさびしむ
何事も我が運命と思いしやぐちもらすべき人ひとりなく

退職協　高椋　竜生

一本の柱にも差別の涙汗しみると妻の言ひつつ拭ける
塗り替えし三本線の坑帽に語りかけつつ餅を飾りぬ
三池争議のとき小四の子が今朝は県庁座り込みに出て行く
夜警より戻りパートに出る妻と二言三言かわすひとときき
人間らしく生きる悦び今も会えばそのことを言ふ三本線の仲間

遺族会桂　永江　美由紀

三井は一万二千内で年をとれという殺せし罪もつぐわぬまま
年の瀬をいかに赤字補う手だてなし餅一つ買い仏に供う
殺されて十二度めぐりきし年のあけ怒りあらたに闘いを組む

三井砂川坑でまた事故の報爆発ときくだけに身の毛よだちて
雪つもる北国の仲間におもいはせ胸さわぐなかにその遺体はこぶ

三川指導部　町　佳郎

迷明を隔つるごとき稜線をはうごと浄き初日昇りぬ
打ち続く物価狂乱世の荒さび吾働く者も弱者の一人
啄木の働けどの歌吾が今の心に深く泌みてわびし
妻と娘の健やかなるを幸として心締めつつ日々に向かわん
弱者には弱者のたつき億となる土地を転がし笑む人もあり

主婦会港務　本村　理子

話題合う共に育ちし夫と吾三池労組と歩み来たりて
背丈こす子にも思い出残したる幼き絵画を記載せし機関紙
百八十度人間変ると母のいう三池主婦会に育ちし吾を
坑夫妻われしか詠めぬ詩歌ありと手帳しのばせデモに出でゆく

俳句の部

退職協　高椋　竜生

日本に日本髪あり初鏡
晴着着て出るかっぽりの鈴可愛い
晴着着せられつつじっとしておらず
買初めの妻にこにことにこにこと
一人減り二人減りせし賀状くる

退職協　高山　史朗

あまえみちしる泣初めぞめでたげれ
年酒くみかわし姉婿妹婿
手焙りのあるにはあれど紙漉女
立ちしあとくぼめる猫の炉坐蒲団
百歳の猫にしつらえ炉坐蒲団

三川指導部　松永一郎

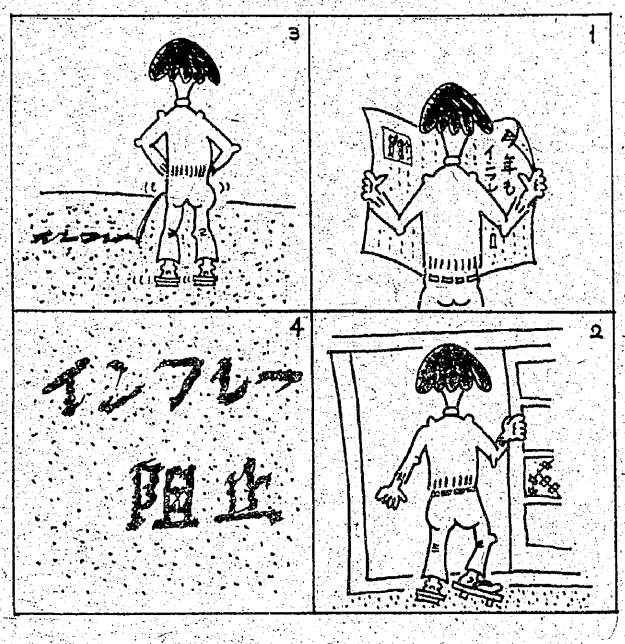
新年は「団結、抵抗、統一」のスロトガン
「ガンバロウ」また新年の合言葉
スクラムで迎えた「みいけ」一千号
闘いの支えも「みいけ」の一千号
今年も無事故でさあ前進

主婦会小浜南　松永ハツミ

働けど働けど追いつくとマなし物価高
新春の仕事の始め先ず点検
初日の出交す笑顔で「ご安全」
挨拶に手渡す「みいけ」の一千号
闘いの歴史と共に一千号

書き初め

宮浦指導部〝交流〟



今、職場のそこかしこに、マンガ家が職場新聞を通して活動し始めています。これは闘いの武器として、貴重なエネルギーです。これからはどしどし、本紙へもご投稿下さい。全国に、マンガで三池の存在を示しましょう。